平成３０年（２０１８年）１月２９日
子　ど　も　文　教　委　員　会　資　料
教育委員会事務局子ども教育施設担当

みなみの小学校校舎等整備基本設計について

みなみの小学校校舎等整備基本設計を策定したので報告する。

１　基本設計
　別添１のとおり

２　みなみの小学校校舎等整備基本設計（案）に係る説明会の実施結果
　別添２のとおり

３　今後のスケジュール（予定）

平成３０年１２月	実施設計の策定
平成２９年度末～３２年度	旧中野神明小学校校舎解体、新校舎建設工事
平成３２年度	新校舎供用開始

別添１

みなみの小学校校舎等整備基本設計

１　施設配置等

（１）施設配置

配置図、平面図、断面図のとおり

（２）施設概要

○ 階　　数　　地上４階
○ 構　　造　　鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
○ 敷地面積　　約　９，０２３．７㎡
○ 延べ面積　　約　９，９７０㎡
・小学校（図書館除く）　　約　８，８９９㎡
・地域開放型学校図書館　　約　　３２１㎡
・キッズ・プラザ　　約　　７５０㎡
○ 校庭面積　　約　３，２８４㎡

（３）建築条件等

項目	内容		
所在地	東京都中野区弥生町四丁目 27 番		
敷地面積	9,023.7 ㎡(923.7 ㎡、8,100.0 ㎡)		
前面道路	北側:道路幅員 4.0m、西側:道路幅員 5.9m 南側:道路幅員 4.0m		
	西側	中央	東側
用途地域	近隣商業地域	第一種中高層住居専用地域	
防火指定	防火地域	準防火地域・ 新防火地域(東京都建築安全条例第 7 条の 3 第 1 項)	
指定容積率	400%	200%	
指定建ぺい率	80%	60%	
高度地区	なし	第一種高度地区	
隣地斜線	31m 2.5	20m 1.25	
道路斜線	20m 1.5	20m 1.25	
日影規制	なし	範囲 5m～ 4.0h 範囲 10m～ 2.5h 測定水平面 4.0m	範囲 5m～ 3.0h 範囲 10m～ 2.0h 測定水平面 4.0m

【補足】上記「敷地面積」

9,023.7 ㎡(近隣商業地域分 923.7 ㎡、第一種中高層住居専用地域分 8,100.0 ㎡)

２　基本設計の視点

（１）小学校

ア　校舎

○ 校舎や校庭を一体的に使用していく新たな教育環境として、上履きを使用しない「一足制」での運用による校舎を整備
○ 教室の寸法を変更することにより、屋内運動場を含む諸室を効率的に配置
○ 全ての普通教室を校庭に面した配置とするよう整備
○ 多目的な活動に活用できるスペースを学年ごとに整備
○ 多様な学習形態や教育活動に対応できる環境を整備
○ 教育相談の連携強化のため、保健室と教育相談室を近接のうえ整備
○ 地域との連携を進める機能や、教員間の研鑽や交流を促す機能を整備
○ 教育空間の拡張や環境負荷の軽減等に有効なバルコニーを整備
○ エレベーターや多目的トイレは、ストレッチャーやリクライニング車椅子利用者にも配慮のうえ整備
○ 全校集会等の学校行事や災害時における避難所機能等、一度に多くの利用者が見込まれる屋内運動場において、快適・安心・安全な環境を確保するため、出入口を広く整備

イ　校庭

○ 一足制による運用を踏まえ、校舎内に校庭の砂塵等を持ち込むことのない材質により、表層部を整備
○ 運動会の観覧スペースとしての活用も想定したバルコニーを整備
○ 校庭として、スペースを最大限活用できるよう配慮のうえ、防球フェンスを設置

ウ　外構計画

○ 児童の体力や運動技能の向上に資する設備を、校庭でのボール運動等の実施に支障とならないよう配置
○ 横長となる北側・西側の立面を、多目的スペースなどの小さな機能で構成することにより、近隣住宅等への圧迫感を軽減するなど、周辺環境に配慮のうえ整備
○ ビオトープや飼育小屋を活用した児童の憩いの場を整備
○ 緑化面積の確保にあたり、新校としての新たな樹木を植栽のうえ整備

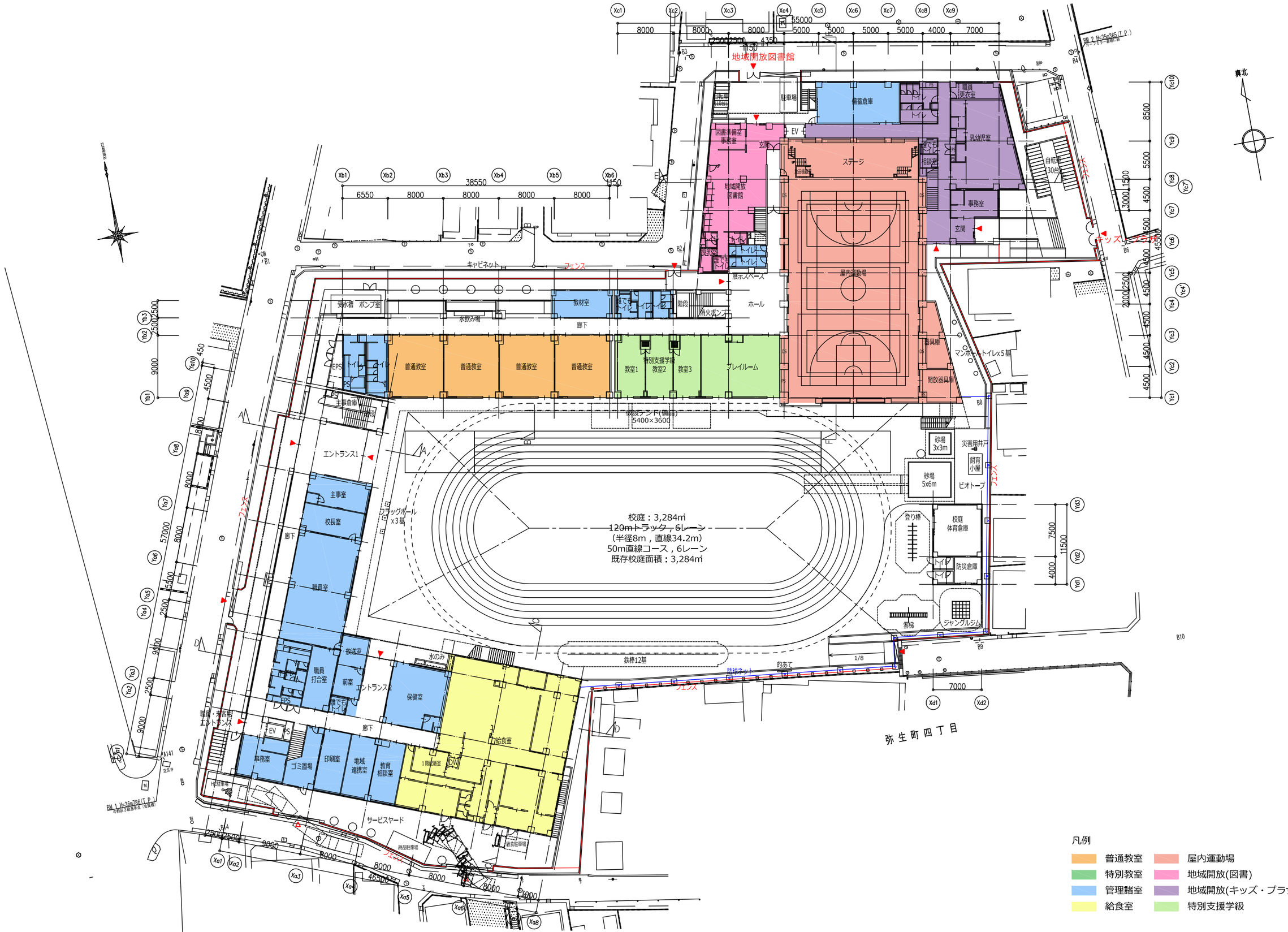
（２）地域開放型学校図書館

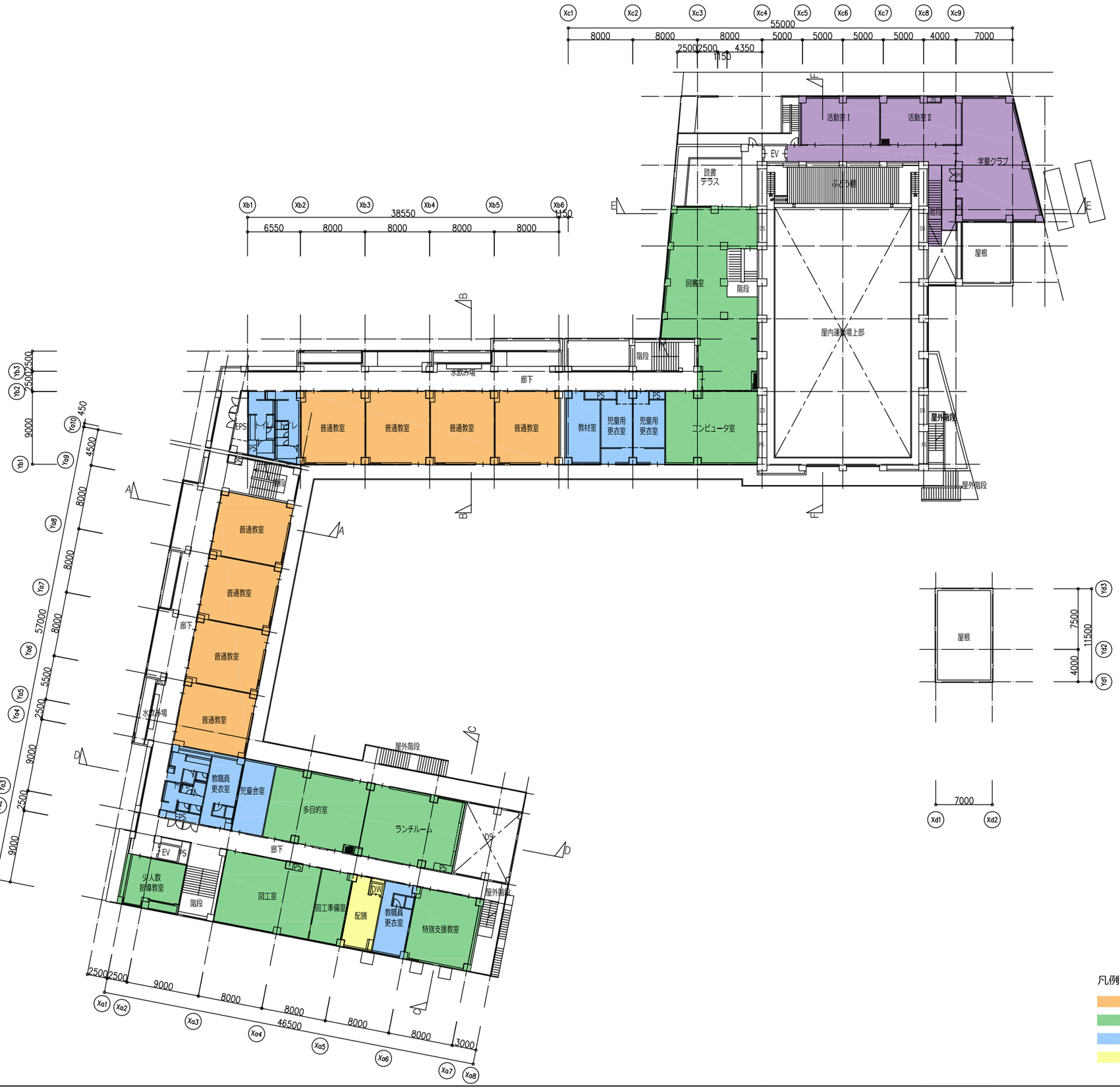
○ 利便性の向上やセキュリティの確保のため、１、２階に配置
○ 地域開放型学校図書館と学校の出入口を明確に分離するとともに、キッズ・プラザとの効果的な連携も踏まえ、配置・動線計画を整理

○ 地域開放エリアには約５，０００冊（児童書１，０００冊、絵本２，０００冊、一般書２，０００冊）の蔵書を確保のうえ、１０席程度の閲覧席を確保
○ 区立図書館と学校図書館との統合システムの導入と、指定管理者が配置する学校図書館指導員との連携による一体的運用環境の整備

（３）キッズ・プラザ
○ 利便性の向上やセキュリティの確保のため、１、２階に配置
○ キッズ・プラザと学校の出入口を明確に分離するとともに、地域開放型学校図書館との効果的な連携も踏まえ、配置・動線計画を整理
○ 乳幼児室、学童クラブ室は下足を脱ぐ空間として整備
○ 屋内運動場、校庭を利用しやすいよう配置・動線計画を整理

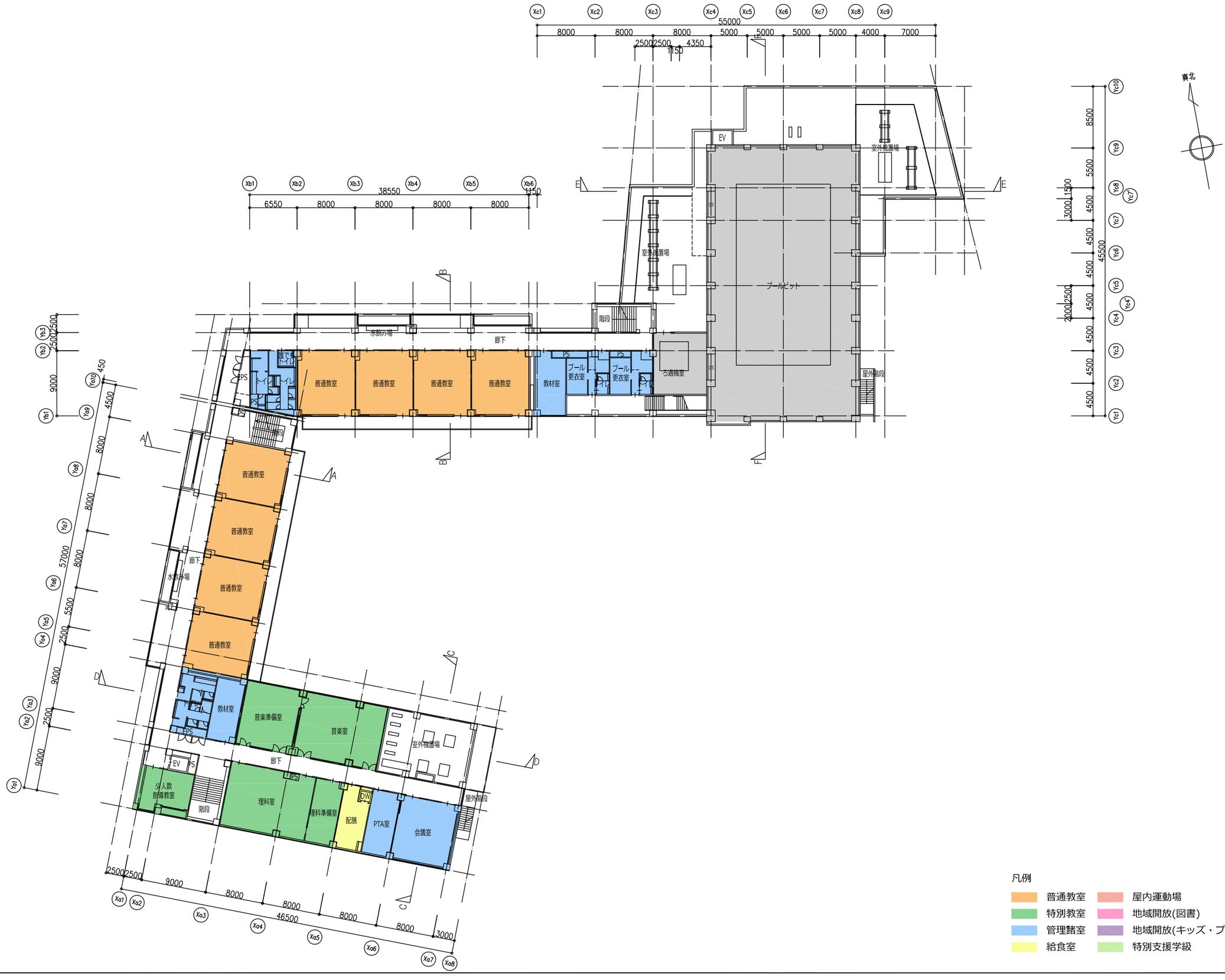
（４）その他（防災拠点としての機能、環境への配慮）
○ 避難所としての機能を踏まえ、備蓄倉庫や防災倉庫のほか、マンホールトイレ、災害用井戸、ヘリサインを整備
○ プールの水は地域の消防水利として利用するほか、マンホールトイレの洗浄水としても活用できるよう整備
○ 平常時のほか、災害時の電源としても活用しうる太陽光発電装置を整備


地域開放図書館
駐車場
備蓄倉庫
職員更衣室
図書準備室
事務室
玄関
ステージ
乳幼児室
自転車(30台)
地域開放図書館
事務室
玄関
キッズ・プラザ
キャビネット
フェンス
展示スペース
屋内運動場
受水槽
ポンプ室
水飲み場
教材室
廊下
階段
消火ポンプ
ホール
器具庫
マンホールトイレx5基
普通教室
普通教室
普通教室
普通教室
特別支援学級
教室1
教室2
教室3
プレイルーム
開放器具庫
主事倉庫
仮設テント(備品)
5400×3600
エントランス1
砂場
3x3m
災害用井戸
飼育小屋
砂場
5x6m
ビオトープ
主事室
校長室
フラッグポール
x3基
校庭：3,284㎡
120mトラック，6レーン
(半径8m，直線34.2m)
50m直線コース，6レーン
既存校庭面積：3,284㎡
登り棒
校庭
体育倉庫
防災倉庫
職員室
放送室
鉄棒12基
防球ネット
的あて
職員
打合室
前室
エントランス2
保健室
給食室
事務室
ゴミ置場
印刷室
地域
連携室
教育
相談室
サービスヤード
弥生町四丁目
真北
凡例
普通教室
特別教室
管理諸室
給食室
屋内運動場
地域開放(図書)
地域開放(キッズ・プラザ)
特別支援学級



凡例

- 普通教室
- 特別教室
- 管理諸室
- 給食室
- 屋内運動場
- 地域開放(図書)
- 地域開放(キッズ・プラザ)
- 特別支援学級

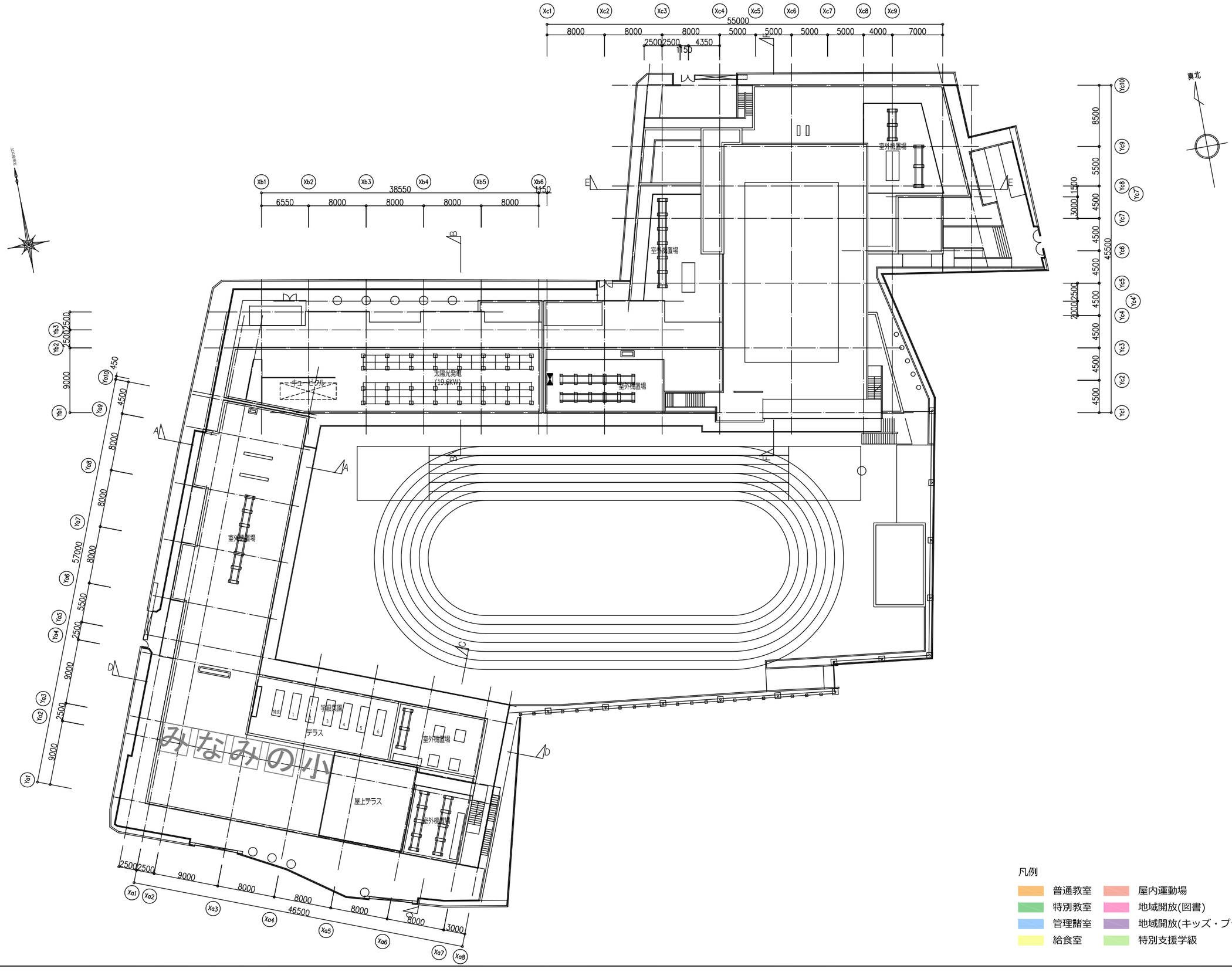


55000
38550
46500
45500
真北
EV
室外機置場
ブールピット
階段
水飲み場
廊下
普通教室
教材室
ブール更衣室
ろ過機室
屋外階段
音楽準備室
音楽室
少人数指導教室
理科室
理科準備室
配膳
PTA室
会議室
凡例
普通教室
特別教室
管理諸室
給食室
屋内運動場
地域開放(図書)
地域開放(キッズ・プラザ)
特別支援学級

3階平面図　S=1/500

凡例

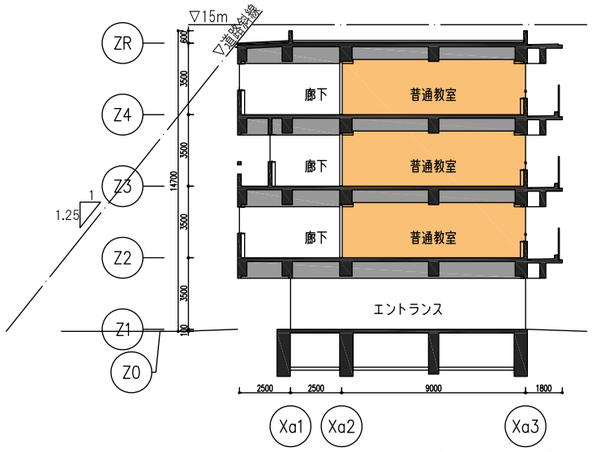
- 普通教室
- 特別教室
- 管理諸室
- 給食室
- 屋内運動場
- 地域開放(図書)
- 地域開放(キッズ・プラザ)
- 特別支援学級



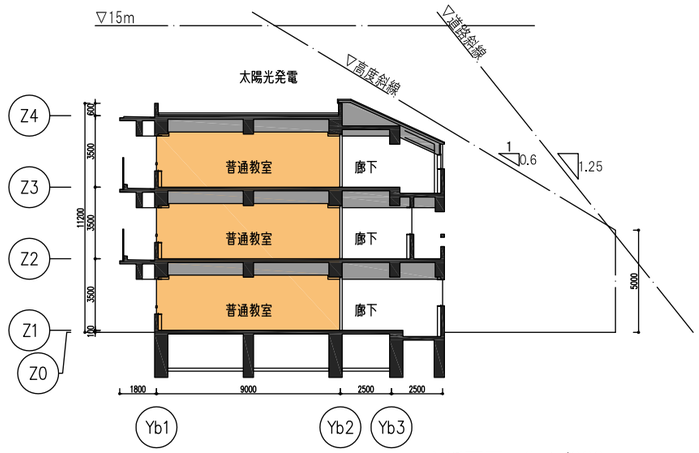
凡例

- 普通教室
- 特別教室
- 管理諸室
- 給食室
- 屋内運動場
- 地域開放(図書)
- 地域開放(キッズ・プラザ)
- 特別支援学級

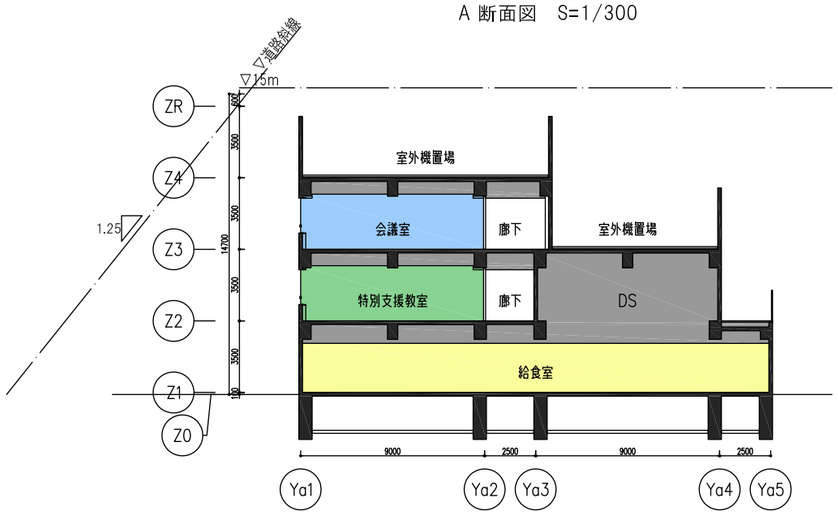
2-6 断面図



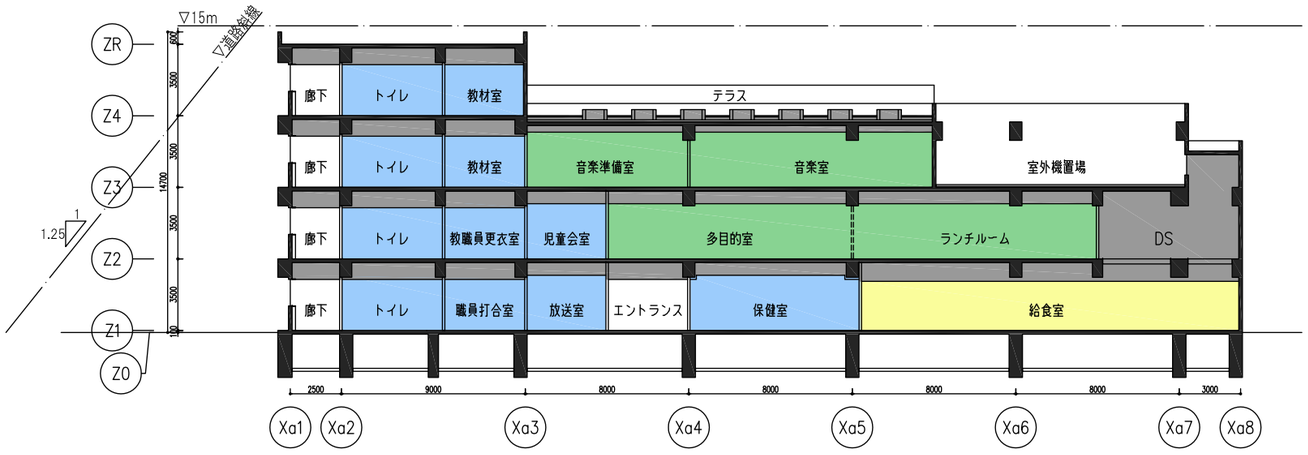
A 断面図　S=1/300



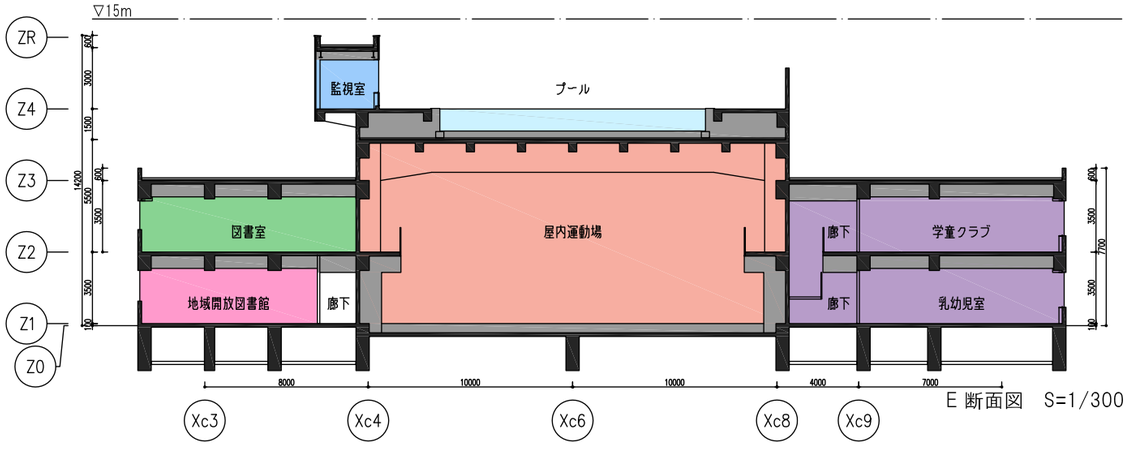
B 断面図　S=1/300



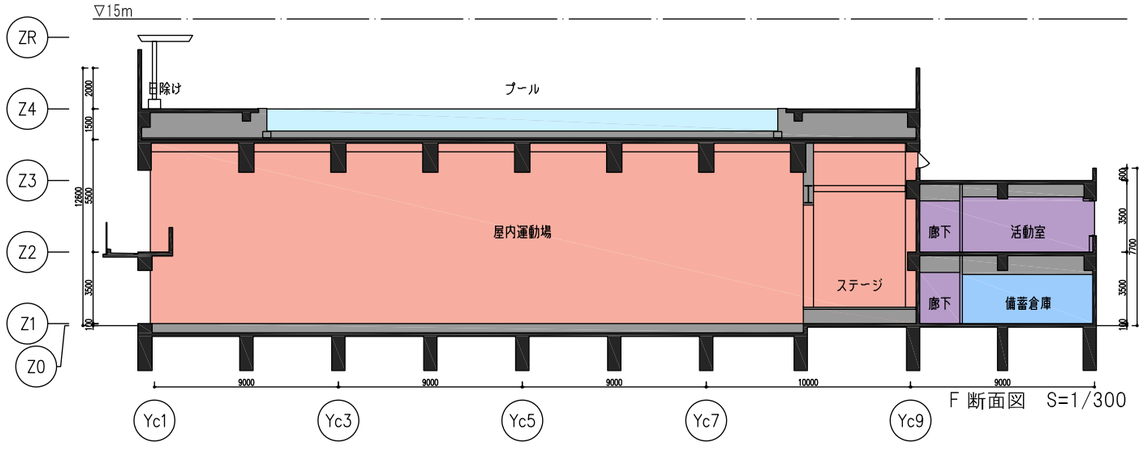
C 断面図　S=1/300



D 断面図　S=1/300



E 断面図　S=1/300



F 断面図　S=1/300

別添２

みなみの小学校校舎等整備基本設計（案）に係る説明会の実施結果について

１　開催日時及び会場、参加人数

日　　時	会　　場	参加人数
１２月１５日（金）１４時～１６時	南中野区民活動センター	９人
１２月１６日（土）１８時～２０時	南中野区民活動センター	５人

２　説明会で寄せられた主な質問・意見について

	主な質問・意見	区の考え方
①	一足制は、校舎内への雨水の持ち込みや児童の床を使った作業への制限などが気になる。	校舎内に雨水等を極力持ち込まないよう動線上の整備を工夫していくほか、床材については汚れにくく、掃除がしやすい素材を検討していく。
②	一足制の場合、体育館は下足で利用するのか。	体育館については、体育館履きでの利用を想定しており、一学年分の下足入れを体育館の前に設置する。
③	キッズ・プラザの活動室や学童クラブ、乳幼児室も一足制なのか。	キッズ・プラザも一足制になる。学童クラブと乳幼児室については靴を脱いで使用することから、それぞれの入口に下足入れを設置する。
④	バルコニーの設置にあたり、児童の安全面はどのように確保していくのか。	落下防止の手すりの設置や形状等、安全性を考慮した整備をしていく。
⑤	児童や教室数に対してトイレの数が少ないように思う。	どの教室の児童がどのトイレを使用するか等のルール化など、利用面での工夫も想定し、今の設置数としている。
⑥	屋上のプールに周りのマンションからの目隠しや屋根は設置されるのか。	高さ制限の関係でプールに屋根をつけることは出来ないが、周囲からの視線対策や直射日光を避けるための工夫をする。
⑦	地域開放型学校図書館について、学校が利用しない時間帯は、１・２階とも区民が利用できるのか。	そのとおりである。
⑧	太陽光発電装置の発電量はどれくらいか。また災害時のために発電機などもあるのか。	発電量は１０～３０KW を目標に考えている。災害時の電力供給は、必要な諸室を対象としている。発電機は設置しないが、蓄電池を設置する予定である。
⑨	マンホールトイレは設置に適した位置なのか。	非常時には屋上プールの水を使用することになるため、それに適した位置としている。